

流山おおたかの森西側・パチンコ店出店

住民本意のまちづくりを



小田桐たかし
市議

井崎市長の『出店反対』表明が力ギ 議会への陳情提出で総意を求めよう

パチンコ店出店について、今すぐできる大事なポイントは、市長が『出店反対』を表明し、より良い土地活用へ地権者との協議を行う

パチンコ店出店について、ことです。また、議会への陳情提出で、この地域の街づくりについて、議会に総意を求めることがあります。

井崎市政では、『母になるなら』と公費で広告宣伝を打ち、子育て世代の誘致を誇つてきました。一方で、2001～04年まで行政・議会・市民による共同で『都市マスターープラン』を作成。この地を『流山新都心』としました。しかし、プランで掲げられた「戦略的なまちづくりの推進」「地権者、事業者、市民及び行政の協働による新しいまちづくりの仕組み」

は棚上げされ、規制緩和と経済性重視の土地活用が最優先されてきたのです。

また、駅西口ロータリーは、『交通広場』と位置づけ、他県からもバス等で多く訪れる 것을前提に、柏駅東口よりも大きな駅前ロータリーです。『街の顔』ともいえる場所すらも、適正な誘導が図れない：『都市マスターープラン』はどこへいったのでしょうか。

5月14日、毎週木曜日、恒例のおおたかの森駅早朝宣伝中の小田桐たかし市議に「西側にパチンコ店出店の看板が設置された」「井崎市長からそういうものは

出ないって聞いていたのに：」との声が聞かれました。さっそく調査を行いましたが、14日時点でも、出店に必要な協議や書類提出がされていませんでした。



「子育てしやすいまちは真逆では?」「パチンコやフーズは出られない街って聞いたのに

【都市マスターープラン】はどこへ…?